

準用河川 辻井川雨水貯留施設整備事業

辻井川雨水貯留施設



雨水貯留施設の内部



現場見学会 (H24.11.22)



第2期 施工状況 (H24.10)



排水ポンプ



流入口



上部利用状況



姫路市役所

下水道局河川整備室

TEL (079) 221-2678 FAX (079) 221-2683

<http://www.city.himeji.lg.jp/s90/2212672.html>



平成26年3月 発行

姫路市下水道局河川整備室

A-A'

86250

第1期施工
43125第2期施工
43125

0.200%

▽14.57
DL=10.00

▽15.05

▽15.34
DL=10.00

B-B'

77370

38685

38685

24.02

23.92

23.40

23.40

23.42

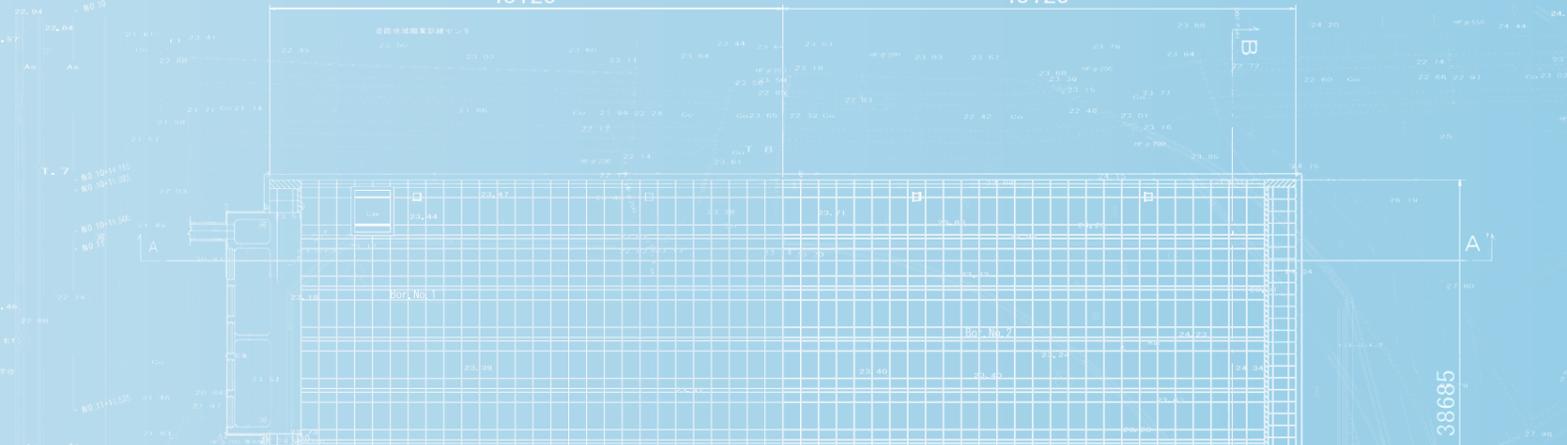
23.41

23.32

▽15.30

▽15.30

DL=10.00

第1期施工（平成12-14年度）
43125第2期施工（平成23-25年度）
43125

■ 辻井川流域について

辻井川流域は、姫路市の中心市街地に隣接し、近年宅地等の開発により流域内の人口が急速に増加しています。宅地化による田畑の減少は、従来流域が有していた保水・遊水機能の低下につながり、河川や水路の短時間での増水の原因となっています。また、辻井川流域の河川は、分流や合流を繰り返して流れ、さらにその規模も小さいため、排水能力は極めて低く、現在の河川だけで排水できる量には限りがあります。

このため、本川への流出量を抑制する雨水貯留施設を計画し事業を進めてきました。



過去の浸水状況（H24.6.19 台風4号）

■ 雨水貯留施設とは

学校の校庭、公園、駐車場、道路など、ある程度広い敷地の地下に設置する治水施設です。大雨のときに河川や水路から水が流れ込み、一時的に貯留することによって下流地域の浸水被害を防ぎます。貯留した水は、下流の河川に余裕ができれば徐々にポンプで排水します。

■ 過去の主な被害状況

日時	被災要因	被災の概要	降雨量
H 9. 7.26	台風 9号	床上浸水3戸、床下浸水105戸	時間雨量 37.5mm
H16.10.20	台風 23号	床上浸水2戸、床下浸水31戸	時間雨量 12.5mm 総雨量 266.0mm (36時間)
H22. 5.24	集中豪雨	床下浸水14戸	時間雨量 38.5mm 総雨量 76.5mm (12時間)
H23. 9. 4	台風 12号	床上浸水5戸、床下浸水50戸	時間雨量 79.0mm 総雨量 316.5mm (36時間)



辻井川雨水貯留施設

■ 事業概要

対象河川	準用河川辻井川・辻井南川（準用河川の指定：平成8年8月）	
事業名	国庫補助事業 準用河川改修事業・辻井川雨水貯留施設整備事業	
事業主体	姫路市	
河川の延長	辻井川 2,340m	辻井南川 1,710m
集水面積	173ha	
総事業費	約16.8億円（設計～第1期、約10.2億円 第2期、約6.6億円）	

■ 各年度事業実施状況

詳細設計委託	平成8年度
導水路工事	平成9年度～平成10年度
植栽移植・用地取得	平成11年度
雨水貯留施設第1期工事	平成12年度～平成14年度
第2期工事	平成23年度～平成25年度

■ 施設の概要

所在地	姫路市辻井八丁目（安室公園グラウンド地下）	
構造寸法	86.25m（東西）×77.37m（南北）×5.00m（高さ）	
貯留方式	地下貯留方式（自然流入）	
貯水容量	27,400m ³	
機械設備	排水ポンプ	口径250mm 排水量 8m ³ /min ×2基
供用開始	第1期	平成15年4月
	第2期	平成25年4月